

# 活動報告ダイジェスト

## 紙パックの回収率

紙パック回収率は34.3%と、リサイクル量は年々増加しています。

紙パックリサイクルに関する情報の収集・提供のために当協議会が行っている「飲料用紙容器リサイクルの現状と動向に関する基本調査」。2003年度の調査も2004年5月～11月に実施されました。

今回の調査では、紙パック全体の回収率(産業損紙、産業古

紙を含む)が34.3%と、前年度に比べ3.2ポイント増加。そのうち使用済み紙パック回収率(家庭系+学校給食用などの事業系)は24.1%(前年度比+1.9ポイント)、家庭系みの回収率は24.5%(全年度比+1.3ポイント)で、事業者、自治体、消費者の協力のもと、紙パックの回収率はますます高まっている結果となりました。

※2003年度の調査では、紙容器メーカー8社・飲料メーカー380社・小学校2,318校・1,218市町村・スーパーマーケット207社・製紙メーカー60社を調査対象としました。  
※紙パックの製造工程と飲料充填工程で発生した不良原紙、端材、在庫処分品などの使用されない紙パックを損紙、または産業損紙と呼んでいます。  
※店舗、事業所、学校、家庭などで発生した紙パックを古紙と呼んでいます。さらに、古紙のなかでも、飲料メーカーが主に学校から引取った使用済み紙パックと、主に店舗や事業所から返品として戻された飲料の紙パックを産業古紙と呼んでいます。

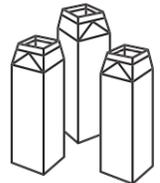
### 2003年度の紙パックの回収率



産業損紙・古紙を含む紙パック回収率

**34.3%**

=国内紙パック回収量÷紙パック原紙使用量=8.3万トン÷24.2万トン



使用済み紙パック回収率

**24.1%**

=使用済み紙パック回収量÷紙パック出荷量=4.9万トン÷20.5万トン



家庭系使用済み紙パック回収率

**24.5%**

=家庭系使用済み紙パック回収量÷家庭系紙パック出荷量=4.4万トン÷18.1万トン

### 2003年のEUの紙パックリサイクル率(参考)(%)

	回収率	
オーストリア	33	イタリア 8
ベルギー	68	ルクセンブルグ 97
デンマーク	0	オランダ 3
フィンランド	18	ポルトガル 7
フランス	20	スペイン 26
ドイツ	65	スウェーデン 44
ギリシャ	0	イギリス 1
アイルランド	1	EU15ヶ国平均 30

紙パック古紙のほとんどが、有価物として引き取られています。

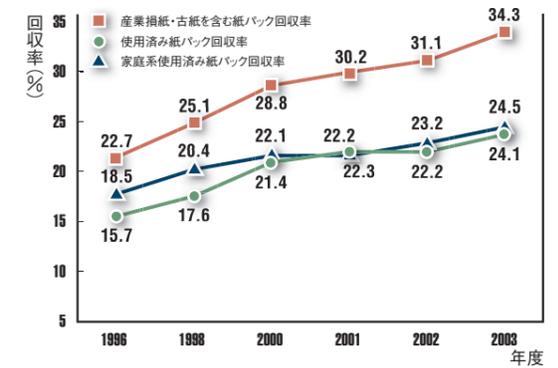
紙質のよい紙パックは市民団体や古紙問屋、製紙メーカー等の努力に支えられ、他の古紙より高値で取り引きされています。調査でも、市町村回収に関しては回答が得られた236件のうち215件が有価物、21件が無償で取り引きされており、回収された紙パックのほとんどが有価物として取り扱われていることがわかります。

リサイクル意識の定着とともに、店頭回収が著しく増加。

1994年の調査開始以降、紙パックのリサイクル活動は着実に拡大しており、グラフでも回収率・回収量ともに年々、増加傾向であることがわかります。

特に2003年度は、使用済み紙パック回収量が昨年度より5.3千トン(+11.9%)増加。店頭回収が4.9千トン(+26.3%)と著しく増加しているのが大きな特徴で、消費者のリサイクル意識が定着してきたことを物語る結果となっています。

### 紙パックの回収率の推移



### 主要データの推移(千トン)

区分	1996年度	1998年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	前年度比
飲料用紙パック原紙使用量(A)	225.6	223.4	228.0	229.1	232.9	242.3	+4.0%
紙パックメーカー産業損紙発生量	24.1	21.0	21.0	22.4	26.4	30.7	+16.1%
飲料メーカー産業損紙発生量	—	—	—	2.7	4.1	4.4	+6.4%
飲料メーカーからの飲料用紙パック出荷量(B)	201.5	202.2	204.1	203.2	198.2	204.6	+3.2%
家庭系(C)	166.4	167.8	182.2	182.7	171.8	181.1	+5.4%
自販機等(事業系)	23.1	21.3	10.7	11.0	16.5	13.6	-17.6%
学乳(事業系)	12.0	12.9	11.2	9.5	9.9	9.9	+0.6%
使用済み紙パック回収量(D)	31.6	35.6	43.6	45.3	44.0	49.3	+11.9%
店頭回収量	16.4	16.6	18.8	18.5	18.8	23.7	+26.3%
市町村回収量	5.3	8.1	12.0	12.0	12.0	11.9	-1.0%
集団回収量	9.1	9.5	9.4	10.0	9.1	8.7	-4.3%
学乳紙パック回収量(E)	0.8	1.4	3.4	4.8	4.1	5.0	+20.1%
産業損紙・古紙紙パック回収量(F)	19.6	20.4	22.0	23.8	28.5	33.7	+18.6%
紙パックメーカー回収量	19.6	20.0	20.7	22.2	26.4	30.3	+14.9%
飲料メーカー回収量	—	0.4	1.3	1.6	2.1	3.5	+65.3%
製紙メーカー国内紙パック受入量(G)	51.2	56.0	65.6	69.1	72.5	83.1	+14.5%
紙パック古紙輸入量(H)	—	—	13.6	9.6	7.2	15.7	+117.9%
製紙メーカー紙パック受入量(I)	51.2	56.0	79.2	78.7	79.7	98.7	+23.9%
紙パック再資源化量(J)	35.8	39.2	55.4	60.6	61.7	73.0	+18.4%
産業損紙を含む紙パック回収率(G)/(A)	22.7%	25.1%	28.8%	30.2%	31.1%	34.3%	+3.2P
使用済み紙パック回収率(D)/(B)	15.7%	17.6%	21.4%	22.3%	22.2%	24.1%	+1.9P
家庭系使用済み紙パック回収率((D)-(E))/(C)	18.5%	20.4%	22.1%	22.2%	23.2%	24.5%	+1.3P

※(G)=(D)+(F)、(I)=(G)+(H)、(J)=(I)×(歩留率) 歩留率は調査結果等より求めています。 ※1996年度の産業損紙発生量にはアルミつき紙パックを含みます。 ※1998年度の産業損紙発生量には熱回収量を含みます。 ※2000年度までの再生紙の歩留りは70%、2001年度以降はアンケート調査により求めています。 ※数値を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

# 活動報告ダイジェスト

## 2003年度紙パックマテリアルフロー

2003年度の飲料用紙パックリサイクルの全体像をマテリアルフローで示したものです。

※単位：千トン  
 ※（ ）内は2002年度推計値との差です。  
 ※四捨五入しているため、合計と一致しない箇所があります。

